

第1回岐阜県AI活用研究会の振返り

【構成員の発言概要】

①AI活用にあたっての考え方

- ・AI自体が戦略ではなく、私たちが主体的にAIをどう使うかが重要。
- ・AIを導入することが目的となってはならない。
- ・AIを導入することで、仕事を減らすこと、本来の仕事に専念できる時間を確保できること
が大事である。
- ・「変えてみてダメなら戻す」という文化の醸成や、AIに考えさせるのではなく、「AIと一緒に考える」と
いう考え方が必要。
- ・生成AIは行政の完全なる「ゲームチェンジャー」と認識している。
- ・AIは企業の課題解決における「強力な武器」。
- ・広域での共同利用の可能性などを探っていくか。



第1回岐阜県AI活用研究会の振返り

【構成員の発言概要】



②AI活用にあたっての現状と課題

- ・上司に相談する前にAIと対話することで課題解決の効率化が図られたり、過去のデータをAIに学習させることで生産計画の精度向上につながっている。
- ・職人の暗黙知やノウハウをAIに学習させ、若手への技術伝承に役立てたり、社内データをAIが分析することで、生産性・品質向上につなげている。
- ・多言語対応もできるので言葉の問題の解決にも大きく寄与している。
- ・課題としては、情報漏洩やセキュリティ、モラル的課題、AI技術者の育成等がある。
- ・課題は、利用状況の2極化、利用マニュアル等の充実、回答の精度不足。
- ・現場に丸投げするだけでは、使われることなく、失敗に終わる。その現場で、技術を使いこなせる人材を育てていくことが必要。
- ・人口減少に直面する中、AIを活用した省人化、それによる時間の創出、仕事の技術の伝承は、官民共通の課題。
- ・生成AIをはじめとするAI技術は進化しており、情報を加工して提供するのみならず、次のアクションをする仕組みが整いつつある

第1回岐阜県AI活用研究会の振返り

【オンライン視聴者アンケートからの抜粋】

①感想・課題など

- ・行政の業務を行うにあたり**情報漏洩・セキュリティ**の点だけ気になっている。
- ・**著作権や情報の精度といった問題**を解決するリスク管理が重要。
- ・**内製化が促進できた理由**(経営者の気構え、社内体制、秘訣)なども紹介いただけとありがたい。
- ・インターネットへのブレイクアウト環境での利用に関して環境が整っていない自治体も多い。この辺りのシステム要件の整理や改善も並行して考えるべき課題。
- ・行政はドキュメント管理や大きなデータベースが多く、蓄積がしっかりとっている現場であるので、ある意味、民間よりもAIとの親和性は高いと改めて気づかされた。



②アイデアなど

- ・行政機関で、共通業務が多い部分向けの、生成AIモデルの導入を検討しても良いのでは。
- ・日常業務の合理化、省力化はかなりできるのではないかと思う。住民へのサービスについても、行政が持っている情報をAIを使って、効率的に、情報開示できる。
- ・使いたい人が使える環境を整備した後のベンチマークを策定することも必要ではないか？

